



卓球交流会レポート 2010

発行：NPO法人卓球交流会 2011年1月4日

NPO法人卓球交流会は、2010年度の活動を無事に終えることができました（本会の年度は1月1日～12月31日）。ここに、2010年度に行われた主な活動やニュースを報告致します。

●1月17日、第1回卓球交流大会を開催

1月17日、本会初の大会となる「第1回卓球交流大会」を、静岡市のもくせい会館にて開催した。1チーム3～4名の団体戦で行った。これまで大会に出場したことのない初級者も多数参加した。そのため、そうした初級者でも試合進行などに戸惑うことがないよう、熟練者に試合の進行や、空いた台での技術指導などの協力をしていただいた。そのおかげで、「また来年も企画してください！」という声が多く聞かれた。また、株式会社ジュウイックが協賛として賞品の提供をしてくださった。



優勝チームの皆さん

●2月4日、5月20日、9月16日、特別支援学校にて卓球指導

2月4日、5月20日、及び9月16日に、本会理事長の山田が、静岡県立静岡北特別支援学校南の丘分校の補充的学習講師として卓球指導にあたった。同校は、軽度の知的障害者を対象とした高等部の特別支援学校で、参加した生徒は、1～3年生のうち卓球に興味をもつ初級者であった。

「ラケットの標準的な握り方」「フォアハンドロングやバックハンドショートの基本動作」のほか、簡易ゲームやダブルスの楽しみ方なども伝え、実際に練習した。生徒は大変礼儀正しく、練習にも積極的、かつ楽しそうに取り組んでいた。この数回の指導をきっかけに、継続的に卓球に取り組むようになった生徒も複数名みられた。



簡易ゲームに取り組む生徒たち

ご支援に感謝致します

NPO法人卓球交流会
賛助会員（団体）

株式会社タマス
株式会社ジュウイック
静岡大学卓球部OB会

他にも多数の方が個人会員として賛助してくださいました。

●2月28日、8月15日、9月26日、静岡市社会人リーグに参加

静岡市社会人リーグは、毎年3回行われる静岡市卓球協会主催の市民大会（団体戦）である。36部のカテゴリーに分かれ、各部4チームからなる。卓球交流会からの参加チーム数は、平成22年度大会は7チームであった。この大会に7チームが参加するのは、全クラブの中で最多である。卓球交流会のメンバーは、全くの卓球未経験の大人が教室に通うようになり、この大会で「デビュー」する方が多いのが特徴である。この大会をきっかけに他の市民大会に参加するようになる方も少なくない。

また、大会後の懇親会も恒例の交流イベントとなっている。平成22年度中期大会終了時点の卓球交流会の各チームのカテゴリーは以下の通り。

Aチーム：11部 Bチーム：25部 Cチーム：32部 Dチーム：30部
Eチーム：34部 Fチーム：33部 Gチーム：36部

●3月1日～29日、シニアが卓球に親しむためのサポート事業を開催

3月1日～29日、静岡市地域スポーツクラブ活動事業補助金を受け、「シニアが卓球に親しむためのサポート事業」を開催した。本事業はシニアの初心者でもラリーを楽しむことを体験できるように、ラージボールを使用した。多くのヒッティングパートナーに協力していただいたこともあり、卓球経験がないにもかかわらず、100回以上もラリーを続けることができた参加者が何人もみられた。

「汗をかいて気持ちよかった」「これをきっかけに継続したい」とのコメントが多く聞かれた。



連続ラリーの練習に取り組む参加者

●5月22日～23日、温泉卓球交流会 in 沼津を開催

5月22日～23日、第12回温泉卓球交流会を、沼津市のニューウェルサンピア沼津にて開催した。小学1年生から78歳の方まで幅広い年齢層から36名の方が参加し、世代を越えて卓球の試合や練習を通じて交流を深めた。また、大人の参加者は、温泉や宴会も楽しんだ。宴会では、参加者が自主的に出し物を用意して披露するなど、大変な盛り上がりを見せた。

この温泉卓球交流会は、会員の方などが心待ちにする恒例のイベントとなっている。



世代を越えて対戦する参加者

●7月15日～8月11日、子どもゆめ基金助成事業「キッズ卓球体験フェスティバル」を開催

子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成を受け、7月15日と22日（園児コース）、7月11日と18日（小学校低学年コース）、及び7月25日と8月11日（小学校高学年コース）に、卓球交流会館にて「キッズ卓球体験フェスティバル」を開催した（2日間で1コース）。

参加した子どもたちは、地域の大学生らのサポートを受け、「ラケットを握る」「ボールをコントロールする」「ラリーを続ける」といった初歩的な課題に楽しみながら挑戦した。

●8月1日、5日、運動&勉強習慣サポートプログラムを開催

8月1日と5日、小学校低学年を対象に、運動&勉強習慣サポートプログラムを開催した（2日で1コース）。生活リズムが乱れがちな夏休みに、運動した後でも机に向かって勉強を行う習慣作りのきっかけとすることを目的としたイベントであった。どの子どもも、思いきり身体を動かして遊んだ後、熱心に夏休みの宿題などにも取り組んでいた。親御さんにも大変好評なイベントであった。



運動遊びの後、勉強に取り組む子どもたち

●8月、認定NPO法人「世界の子どもたちにワクチンを 日本委員会」への寄付活動を開始

認定NPO法人「世界の子どもたちにワクチンを 日本委員会」への寄付活動を開始した。本会会員の有志が、特定の大会での勝利数に応じた募金、及びペットボトルのキャップの回収による寄付を行っている。12月21日に、特定の大会での勝利数に応じた募金として13,620円を納めた。また、ペットボトルのキャップの回収については、同日に47.3kgを静岡市社会福祉協議会を通じて納入した。

●10月2日～3日、静岡大学公開講座

「運動習慣を身につけたいシニアのための卓球入門教室」を共催

10月2日～3日、静岡大学公開講座「運動習慣を身につけたいシニアのための卓球入門教室」を静岡大学体育館において静岡大学と共催した。

シニアの卓球未経験者、あるいは初心者が参加した。参加者は、静岡大学卓球部の学生らのサポートを受けながら、ラケットの持ち方から、ラリー練習、サービス練習、ゲーム練習などに取り組み、全日程参加された方には修了証書が渡された。



全日程参加し、修了証書を手渡される参加者

●10月23日～24日、温泉卓球交流会 in 北志賀高原竜王を開催

10月23～24日、第13回温泉卓球交流会を長野県の北志賀竜王高原にて開催した。宿泊と宴会はホテルタガワ、卓球の練習は同ホテルが直営する近隣の体育館で行った。参加者は、卓球、温泉、宴会などお互いの交流を深めた。今回は、2日目に善光寺や松本城などに足を運び、観光を楽しんだ。また、りんご、釜飯、キノコ鍋など、行く先々での信州の料理は大変好評であった。



松本城

●12月4日、静岡スポーツふれあいフェスティバルの運営に参加

12月4日、静岡市主催で行われた総合型スポーツクラブ合同イベント「静岡スポーツふれあいフェスティバル」に主管クラブの1つとして運営に参加した。本会は「卓球体験コーナー」を担当し、子どもから大人まで、多くの市民が参加した。

●12月11日、JUIC-偉関晴光プロの卓球クリニックを開催

12月11日、株式会社ジュウイックと共催で、偉関晴光プロの卓球クリニックを静岡県立大学短期大学部にて開催した。受講の対象は中学生であったが、ヒッティングパートナーとして、静岡学園高校の選手などがサポートしてくださった。また、静岡地域の指導者や卓球愛好家も多数見学に訪れた。



偉関プロの多球練習の様子

偉関プロは、模範演技を見せながら、基本打法や下回転に対するドライブなどを指導した。この講習会の最後には、偉関プロのサービスの返球に全員がチャレンジし、大変に盛り上がった。受講した中学生はもちろん、ヒッティングパートナーや見学者も大いに刺激を受けた講習会であった。なお、この講習会の様子については、12月15日の静岡新聞で紹介された。

賛助会員の募集

卓球を通じて明るく活力のある社会作りを目指す本会を、賛助会員としてご支援いただける方を募集しています。ご入会、その他のお問い合わせについては、以下の事務局までご連絡ください。

個人会員	年間1口：	5,000円
団体会員		
NPOなど	年間1口：	10,000円
企業など	年間1口：	50,000円
公的機関	年間1口：	100,000円

<会費納入先>

郵便振替口座番号 00830-1-64773

郵便振替口座名称 特定非営利活動法人卓球交流会

NPO法人卓球交流会事務局

〒422-8005 静岡市駿河区池田190-2 (卓球交流会館)

電話・ファックス：054-208-3060

e-mail：tt-npo@nifty.com 公式サイト：http://www.table-tennis.jp